

認知症になっても 住み慣れた ここで暮らしたい



高齢化の急速な進行とともに、認知症の高齢者も増加しています。
宮古市では、認知症となっても、できるだけ住みなれた地域で、
安心して生活できるように認知症の支援体制の構築に取り組んでいます。

認知症は、進行とともに状態が変化する病気です。
その変化していく状態に応じて、
適切な支援を受けることが大切になっていきます。

認知症となっても在宅での生活が継続できるように、
その段階に応じた支援について大まかな目安を示したものが、
「認知症ケアパス」です。